

安全データシート

製品及び会社情報

製品名	フレックス 15 ナチュラル
会社名	株式会社創新
住所	東京都豊島区上池袋4-11-16ノックスドールビル3階
電話番号	03-3918-3100
FAX番号	03-3918-3511
推奨用途及び使用上の制限	プラスチック修理・接着剤

本製品は個々に包装された複数の構成品からなるキット製品です。SDSには個々の構成品のSDSが含まれます。個別のSDSを本表紙から分離しないこと。この製品を構成する製品のSDSは：

- ① フレックス 15 ナチュラル パートA
- ② フレックス 15 ナチュラル パートB

その他情報

記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データにもとづいて作成しておりますが、含有量、物理化学的性質、危険・有害性等に関しては、いかなる保証をなすものではありません。また、注意事項は通常の手扱いを対象としたものなので、特殊な手扱いの場合には、用途・用法に適した安全対策を実施の上ご利用下さい。このSDSは、新しい知見により予告なく改訂することがあります。

安全データシート(SDS)

1. 製品及び会社情報

製品名	フレックス 15 ナチュラル パートA
会社名	株式会社創新
住所	東京都豊島区上池袋4-11-16ノックスクールビル3階
電話番号	03-3918-3100
FAX番号	03-3918-3511
推奨用途	プラスチック修理・接着剤
使用上の制限	業務用使用に限定

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性	GHS分類に該当する項目はない	
健康に対する有害性	眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	区分2
環境に対する有害性	GHS分類に該当する項目はない	

GHSラベル要素

絵表示またはシンボル



注意喚起後
危険有害性情報
注意書き

警告
強い眼刺激

安全対策

取扱い後は手、顔をよく洗うこと。

応急措置

保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

眼の刺激が続く場合: 医師の診察/手当てを受けること。

保管
廃棄

—
—

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別	混合物
化学名又は一般名	ポリウレタン接着剤
成分	

化学名	含有率(%)	CAS番号	化審法番号	安衛法			化管毒劇
				表示 通知	がん原 皮膚障害	特化則 有機則	化管法 毒劇法
N,N,N',N'-テトラキス(2-ヒドロキシ プロピル)エチレンジアミン	20-50	102-60-3	2-2410	非該当	非該当	非該当	非該当
				非該当	非該当	非該当	非該当
グリセリンへのプロピレンオキシド 付加物のアミノ化物	1-3	64852-22-8	7-2410	非該当	非該当	非該当	非該当
				非該当	非該当	非該当	非該当
ジブチルビス(ドデシルチオ)スズ	0.1-1	1185-81-5	2-3035	非該当*1	非該当	非該当	非該当*1
				該当*2	非該当	非該当	非該当

*1 閾値未満で非該当

*2 すず及びその化合物として

4. 応急措置

整理番号: -

吸入した場合	：	空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。 気分が悪いときは医師の診断／手当てを受けること。
皮膚に付着した場合	：	多量の水と石けん(鹸)で洗うこと。 皮膚刺激が生じた場合: 医師の診断／手当てを受けること。 汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。
眼に入った場合	：	直ちに、水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 眼の刺激が続く場合: 医師の診断／手当てを受けること。
飲み込んだ場合	：	口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。 気分が悪いときは医師の診断／手当てを受けること。

5. 火災時の措置

消火剤	：	水噴霧、粉末消火剤、泡消火剤、二酸化炭素、砂、
使ってはならない消火剤	：	棒状注水
火災時の特有の危険有害性	：	火災により有害な窒素酸化物を生成する。
特有の消化方法	：	火災発生場所の周辺に関係者以外の立ち入りを禁止する。 消火作業は、風上から行う。 周囲の設備等に散水して冷却する。
消火を行う者の保護具	：	消火活動では適切な保護具(手袋、眼鏡、マスク)を着用する。

6. 漏洩時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

流出した場所の周辺に、ロープを張るなどして関係者以外の立ち入りを禁止する。
漏洩時の処理を行う際には、必ずゴム手袋、保護眼鏡、保護衣等を着用すること。
風上から作業し、風下の人を退避させる。

環境に対する注意事項

流出した製品が河川等に排出され、環境への影響をお子様易溶に注意する。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

回収

少量の場合は吸着剤(おがくず・土・砂・ウエス等)で吸収させ取り除いた後、残りをウエス雑巾等でよくふき取る。
土砂等(の不燃物)で囲って流出を防止し、スコップ又は吸引機などから容器に回収する。

中和

「13、廃棄上の注意」に従い適切に処理する。

二次災害の防止

こぼれた場所は滑りやすいために注意する。
付近の着火源となるものを速やかに除くとともに消火剤を準備する。

7. 取扱い上及び保管上の注意

取扱い

技術的対策(局所排気、全体換気等)

気中濃度を管理濃度、許容濃度或は推奨される濃度以下を保つために、適切な全体換気または局所排気を行う。
安全シャワー、洗眼器を設置する。

取扱者のばく露防止の記載

取り扱いは、換気の良い場所で行う。
取扱い場所には関係者以外の立ち入りを禁止する。

接触回避

整理番号: -

「10. 安定性及び反応性」にある混触危険物質と接触しないように取扱う。

衛生対策
取扱い後は、手、顔をよく洗い、うがいをする。

保管
安全な保管条件
換気の良い場所で、容器を密閉し保管する。
日光から遮断すること。

安全な容器包装材料
オリジナルの容器に保管する。

8. ばく露防止及び保護措置

労働安全衛生法	
管理濃度	設定されていない
濃度基準値設定物質	設定されていない
許容濃度	
日本産業衛生学会(2023年版)	設定されていない
ACGIH(2020年版)	設定されていない

設備対策
屋内作業場での使用の場合は発生源を密閉化し、又は、局所排気装置を設置する。
取扱場所の近くに安全シャワー、手洗い、洗眼設備を設け、その位置を明瞭に表示する

保護具	
呼吸用保護具：	適切な呼吸器保護具
手の保護具：	耐透過性保護手袋
眼の保護具：	安全眼鏡、安全ゴーグル
皮膚及び身体の保護具：	長袖作業衣

9. 物理的及び化学的性質

物理的状態	液体
色	色々
臭い	情報なし
融点／凝固点	情報なし
沸点、初留点及び沸点範囲	>200℃
可燃性	可燃性
爆発下限界及び爆発上限界	情報なし
引火点	182℃
自然発火温度	情報なし
分解温度	情報なし
pH	情報なし
蒸気圧	情報なし
粘性率	4000mPas
溶解度	情報なし
n-オクタノール／水分配係数	情報なし
蒸気圧	0.1Pa
密度	1.04kg/L
相対ガス密度	情報なし
粒子特性	情報なし
その他データ	情報なし

10. 安定性及び反応性

- 反応性
通常の使用条件では、他の物質と反応する特別な危険性はない。
- 化学的安定性
通常の保管、取扱い条件下では安定。
- 危険有害反応可能性
通常の悪寒、取扱い条件下では、危険な反応は予見できない。
- 避けるべき条件
特になし。ただし、化学製品に通常適用される注意事項を守ること。
- 混触危険物質
情報なし
- 危険な分解生成物
燃焼により炭素酸化物、窒素酸化物を生成する。

11. 有害性情報

- 急性毒性
グリセリンへのプロピレンオキシド付加物のアミノ化物
区分には該当しない
経口 LD₅₀ 2690mg/kg
経皮 LD₅₀ 12500mg/kg
- 皮膚腐食性及び皮膚刺激性
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性
強い眼刺激を引き起こす
- 呼吸器感作性又は皮膚感作性
区分には該当しない
- 生殖細胞変異原性
区分には該当しない
- がん原性
区分には該当しない
- 生殖毒性
区分には該当しない
- 特定標的臓器毒性 単回ばく露
区分には該当しない
- 特定標的臓器毒性 反復ばく露
区分には該当しない
- 誤えん有害性
区分には該当しない

12. 環境影響情報

- 生体毒性
グリセリンへのプロピレンオキシド付加物のアミノ化物
魚毒性 LC₅₀ 68mg/L (96時間)
- 残留性・分解性
情報なし
- 生体蓄積性
情報なし
- 土壤中の移動性
情報なし
- オゾン層への有害性
モントリオール議定書の附属書に列記された物質を含まない。

13. 廃棄上の注意

- 残余廃棄物
都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者に委託して処理する。
- 汚染容器及び包装
内容物を完全に除去した後に処分する。
容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規ならびに地方自治体の規準に従って適切な処分を行う。

14. 輸送上の注意

- 国際規制
- 海上輸送
国連番号 該当しない
品名(日本語名) -
国連分類 -
容器等級 -
- 航空輸送
国連番号 該当しない
品名(日本語名) -
国連分類 -

容器等級	-
緊急時応急措置指針番号(NAERG)	-
国内規制	
海上規制情報	船舶安全法の規定に従う
航空規制情報	航空法の規定に従う
陸上規制情報	消防法法の規定に従う

その他

転倒、落下、損傷のないように積み込み、荷崩れ防止を確実に行う。
直射日光を避けて輸送する。

15. 適用法令

化審法		特段の規制を受けない
化学物質排出管理促進法		該当しない
労働安全衛生法	通知義務物質	すず及びその化合物
労働安全衛生法	表示義務物質	該当しない
労働安全衛生法	がん原性物質	該当しない
労働安全衛生法	濃度基準値設定物質	該当しない
労働安全衛生法	皮膚等障害化学物質	該当しない
労働安全衛生法	有機溶剤中毒予防規則	該当しない
労働安全衛生法	特定化学物質障害予防規則	該当しない
毒物及び劇物取締法		該当しない
消防法	危険物第4類 第三石油類 危険等級Ⅲ 非水溶性	

16. その他情報

Prospero s.r.l. SDS : Revision nr. 6 11/11/2022

- NITE CHRIP

記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データにもとづいて作成しておりますが、含有量、物理化学的性質、危険・有害性等に関しては、いかなる保証をなすものではありません。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものであるため、特殊な取扱いの場合には、用途・用法に適した安全対策を実施の上ご利用下さい。このSDSは、新しい知見により予告なく改訂することがあります。

安全データシート(SDS)

1. 製品及び会社情報

製品名	: フレックス 15 ナチュラル パートB
会社名	: 株式会社創新
住所	: 東京都豊島区上池袋4-11-16ノックスドールビル3階
電話番号	: 03-3918-3100
FAX番号	: 03-3918-3511
推奨用途	: プラスチック修理・接着剤
使用上の制限	: 業務用使用に限定

2. 危険有害性の要約

GHS分類	GHS分類に該当する項目はない		
物理化学的危険性	急性毒性 吸入		区分4
健康に対する有害性	皮膚腐食性／刺激性		区分2
	眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性		区分2
	呼吸器感作性		区分1
	皮膚感作性		区分1A
	発がん性		区分2
	特定標的臓器毒性(単回ばく露)		区分3(気道刺激性)
	特定標的臓器毒性(反復ばく露)		区分2(呼吸器系)
環境に対する有害性	GHS分類に該当する項目はない		

GHSラベル要素
絵表示またはシンボル



注意喚起後
危険有害性情報

危 険
吸入すると有害
皮膚刺激
強い眼刺激
吸入するとアレルギー、ぜん(喘)息又は呼吸困難を起こすおそれ
アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
発がんのおそれの疑い
呼吸器への刺激のおそれ
長期にわたる、又は反復ばく露による呼吸器系の障害のおそれ

注意書き
安全対策

使用前に取扱説明書を入手すること。
全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。
屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること。
取扱い後は手、顔をよく洗うこと。
この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。
【換気が不十分な場合】呼吸用保護具を着用すること。
吸入した場合: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
気分が悪いときは、医師の診断／手当てを受けること。
呼吸に関する症状が出た場合: 医師に連絡すること。

応急措置

	皮膚に付着した場合: 多量の水／石鹼で洗うこと。
	皮膚刺激または発疹が生じた場合: 医師の診察/手当てを受けること。
	眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
	眼の刺激が続く場合: 医師の診断/手当てを受けること。
	気分が悪いときは、医師の診断/手当てを受けること。
	ばく露又はばく露の懸念がある場合: 医師の診断/手当てを受けること。
	汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。
保管	換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。
	施錠して保管すること。
廃棄	内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託し適切に廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 : 混合物
化学名又は一般名 : ポリウレタン接着剤
成分

化学名	含有率(%)	CAS番号	化審法番号	安衛法			化管毒劇
				表示	がん原	特化則	化管法
				通知	皮膚障害	有機則	毒劇法
ビス(4-イソシアナトフェニル)メタン重合体	50-100	25686-28-6	7-873	非該当	非該当	非該当	非該当
				非該当	非該当	非該当	非該当

4. 応急措置

吸入した場合	: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。 直ちに医師に連絡すること。
皮膚に付着した場合	: 呼吸に関する症状が出た場合: 医師に連絡すること。 皮膚(または髪)に付着した場合: 直ちに汚染された衣類をすべて脱ぐこと。皮膚を水またはシャワーで洗うこと。 皮膚刺激または発疹が生じた場合: 医師の診察/手当てを受けること。
眼に入った場合	: 汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。 眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
飲み込んだ場合	: 眼の刺激が続く場合: 医師の診断/手当てを受けること。 口をすすぐこと。 気分が悪いときは、医師に連絡すること。

5. 火災時の措置

消火剤	: 水噴霧、粉末消火剤、泡消火剤、二酸化炭素、砂
使ってはならない消火剤	: 棒状注水
火災時の特有の危険有害性	: 火災によって刺激性、腐食性又は毒性のガスを発生するおそれがある。
特有の消化方法	: 火災発生場所の周辺に関係者以外の立ち入りを禁止する。 消火作業は、風上から行う。 周囲の設備等に散水して冷却する。
消火を行う者の保護	: 消火活動では適切な保護具(手袋、眼鏡、マスク)を着用する。

6. 漏洩時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	流出した場所の周辺に、ロープを張るなどして関係者以外の立ち入りを禁止する。 漏洩時の処理を行う際には、必ずゴム手袋、保護眼鏡、保護衣等を着用すること。 風上から作業し、風下の人を退避させる。
-----------------------	---

環境に対する注意事項

流出した製品が河川等に排出され、環境への影響をお子様易溶に注意する。

封じ込め及び浄化の方法及び機材**回収**

少量の場合は吸着剤(おがくず・土・砂・ウエス等)で吸収させ取り除いた後、残りをウエス雑巾等でよくふき取る。
多量の場合は土砂等不燃物で囲って流出を防止し、スコップ又は吸引機などでから容器に回収する。

中和

「13、廃棄上の注意」に従い適切に処理する。

二次災害の防止

こぼれた場所は滑りやすいために注意する。
付近の着火源となるものを速やかに除くとともに消火剤を準備する。

7. 取扱い上及び保管上の注意**取扱い****技術的対策(局所排気、全体換気等)**

気中濃度を管理濃度、許容濃度或は推奨される濃度以下を保つために、適切な全体換気または局所排気を行う。
安全シャワー、洗眼器を設置する。

取扱者のばく露防止の記載

取り扱いは、換気の良い場所で行う。
取扱い場所には関係者以外の立ち入りを禁止する。

接触回避

「10. 安定性及び反応性」にある混触危険物質と接触しないように取扱う。

衛生対策

取扱い後は、手、顔をよく洗い、うがいをする。

保管**安全な保管条件**

換気の良い場所で、容器を密閉し保管する。
日光から遮断すること。

安全な容器包装材料

オリジナルの容器に保管する。

8. ばく露防止及び保護措置**労働安全衛生法****管理濃度**

設定されていない

濃度基準値設定物質

設定されていない

許容濃度

日本産業衛生学会(2023年版)

設定されていない

ACGIH(2020年度版)

設定されていない

設備対策

屋内作業場での使用の場合は発生源を密閉化し、又は、局所排気装置を設置する。

取扱場所の近くに安全シャワー、手洗い、洗眼設備を設け、その位置を明瞭に表示する

保護具

呼吸用保護具:

有機ガス用防毒マスク

手の保護具:

耐透過性保護手袋、ニトリルゴム、ブチルゴム、PVA、LLDPE多層フィルム製等を推奨。

眼の保護具:

安全眼鏡、安全ゴーグル

皮膚及び身体の保護具:

長袖作業衣

9. 物理的及び化学的性質

物理的状态	液体
色	黄色がかった
臭い	情報なし
融点／凝固点	情報なし
沸点、初留点及び沸点範囲	>300℃
可燃性	可燃性
爆発下限界及び爆発上限界	情報なし
引火点	205℃
自然発火温度	>600℃
分解温度	情報なし
pH	情報なし
蒸気圧	0.01Pa
粘性率	2500mPas
溶解度	情報なし
n-オクタノール／水分配係数	情報なし
蒸気圧	情報なし
密度	1.09g/cm ³
相対ガス密度	情報なし
粒子特性	情報なし
その他データ	情報なし

10. 安定性及び反応性

反応性

通常の使用条件では、他の物質と反応する特別な危険性はない。

化学的安定性

通常の保管、取扱い条件下では安定。

危険有害反応可能性

ポリメチレンポリフェニレン＝イソシアナートは酸、アルコール、アミン、水と危険な反応を起こす可能性がある。

避けるべき条件

高温、湿気にさらさない

混触危険物質

酸、アルコール、アミン、塩基、金属、水。

危険な分解生成物

燃焼により炭素酸化物、窒素酸化物を生成する。

11. 有害性情報

以下、ビス(4-イソシアナトフェニル)メタン重合物の有害性を示す。

急性毒性

経口

ラットLD₅₀ >5000mg/kg

経皮

ウサギLD₅₀ >9400mg/kg

吸入(ミスト)

ラットLC₅₀ 0.49mg/L(4時間)

皮膚腐食性及び皮膚刺激性

皮膚刺激を引き起こす。

眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性

重度の眼刺激を引き起こす。

呼吸器感作性

呼吸器系への感作。

皮膚感作性

皮膚への感作。

生殖細胞変異原性

この危険クラスの分類基準を満たしていません。

発がん性

がんを引き起こす疑い。

生殖毒性

この危険クラスの分類基準を満たしていません。

特定標的臓器 単回ばく露
特定標的臓器 反復ばく露
吸引呼吸器有害性

呼吸器への刺激を引き起こす可能性があります。
呼吸器系に損傷を与える可能性がある
情報なし

12. 環境影響情報

生体毒性 データ不足のため分類できない。
残留性・分解性 情報なし
生体蓄積性 情報なし
土壌中の移動性 情報なし
オゾン層への有害性 モントリオール議定書の附属書に列記された物質を含まない。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物
都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者に委託して処理する。

汚染容器及び包装
内容物を完全に除去した後に処分する。
容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規ならびに地方自治体の規準に従って適切な処分を行う。

14. 輸送上の注意

国際規制
海上輸送
国連番号 該当しない
品名 -
国連分類 -
容器等級 -
航空輸送
国連番号 該当しない
品名 -
国連分類 -
容器等級 -
緊急時応急措置指針番号 (NAERG) -
国内規制
海上規制情報 船舶安全法の規定に従う
航空規制情報 航空法の規定に従う
陸上規制情報 消防法の規定に従う

その他
転倒、落下、損傷のないように積み込み、荷崩れ防止を確実に行う。
直射日光を避けて輸送する。

15. 適用法令

化審法 優先評価化学物質 該当しない
化学物質排出管理促進法 該当しない
労働安全衛生法 通知義務物質： 該当しない
労働安全衛生法 表示義務物質： 該当しない
労働安全衛生法 がん原性物質 該当しない
労働安全衛生法 濃度基準値設定物質 該当しない
労働安全衛生法 皮膚等障害化学物質 該当しない
労働安全衛生法 有機溶剤中毒予防規則 該当しない
労働安全衛生法 特定化学物質障害予防規則 該当しない
毒物及び劇物取締法
消防法 危険物第4類 第4石油類 危険等級Ⅲ

16. その他情報

Prospero s.r.l. SDS : Revision nr.6 13/12/2022

・NITE-CHIRP

記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データにもとづいて作成しておりますが、含有量、物理化学的性質、危険・有害性等に関しては、いかなる保証をなすものではありません。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものなので、特殊な取扱いの場合には、用途・用法に適した安全対策を実施の上ご利用下さい。このSDSは、新しい知見により予告なく改訂することがあります。